

大雨に対する技術対策（酪農）

宗谷農業改良普及センター

大雨の時の注意点

大雨によって被害を受けた飼料作物のほ場や貯蔵飼料（ロールベール等）は以下の点を参考にしてください。

また、河川の増水は、降雨後も数時間続きます。河川近くのほ場や貯蔵飼料、各種設備等の観察・作業を行う際は、安全に十分留意してください。

1 滞水および土砂流出に対する対策

(1) 経年草地で土砂が混入・流出した場合は、ほ場の確認を行い、程度により追播や更新を検討する。

新播草地で表土が流出し、裸地化した部分が多いほ場では、イネ科牧草による追播を早めに行う。

(2) 新播草地で滞水したほ場は、入れるようになり次第、排水溝に向かって、スコップで溝を掘るなど、できる範囲で排水対策を行う。

排水対策ができず、広範囲でほ場が裸地化した場合は、イネ科牧草による追播を早めに行う。

2 サイレージ用とうもろこし

(1) 既存の暗渠出口や明渠部分等に詰まりがないかを点検し、排水路を確保する。

(2) ほ場に滞水箇所がある場合は、サイレージ用とうもろこし収穫後に、サブソイラーの施工や溝を掘るなど排水対策を行う。

3 貯蔵飼料の点検と管理

浸水したロールベールやサイレージは、品質が低下し、嗜好性も悪くなるため、給与を避けるとともに、良質飼料の確保に努める。

4 牛舎・パドック等

牛舎等施設が滞水した場合は、以下の手順で自身の安全を第一に行動する。

(1) 牛の状態確認（場合によっては移動を検討）

(2) 排水の実施（河川等の増水が収まってから）

(3) 漏電の確認と浸水した機材の点検

(4) 施設、搾乳機器の清掃・消毒

* 強風を伴う場合は、普及センターHPで「強風に対する技術対策（酪農）」を参照して下さい。

アドレス：<http://www.souya.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/>

または、「宗谷農業改良普及センター」で検索

**天気予報などで最新の情報を確認しましょう。
安全を第一に考え、無理せず、事故防止に努めましょう。**

■お問い合わせ

宗谷農業改良普及センター本所(中頓別町 TEL01634-6-1414) 支所(豊富町: TEL0162-82-2119)